



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

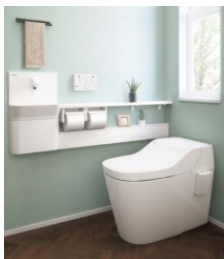
第221号 2020年8月号

SINCE 2002.4.1.

発行日令和2年7月21日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-k.net/>
info@sano-k.net

アラウーノSⅡ

現在お使いのトイレの便器を交換して、全自動お掃除トイレにチェンジしませんか。Panasonicの「アラウーノSⅡ」という商品です。洗浄水量は、大5.7L小4.0Lと節水型になっています。新型のアラウーノに切り替わるため、OUTLET商品として多少お安く流通しています。この機会に是非。



(PanasonicのHPより抜粋)

本体

本体色はホワイトの1色のみです。



リモコン



マドモアチェンジ

現在お使いの手動シャッターのシャフトを交換して、100Vの電源と接続して、便利な電動タイプにチェンジしませんか。三和シャッターの「マドモアチェンジ」という商品です。外壁工事内装工事不要です。この機会に是非。



(三和シャッターのHPより抜粋)

今お使いの手動タイプ窓シャッターの交換は不要。
シャフトの交換や電気工事など工事は簡単、短時間でOKです。
面倒だったシャッターの開け閉めが、ラクラクのリモコン操作に変わります。



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next100**

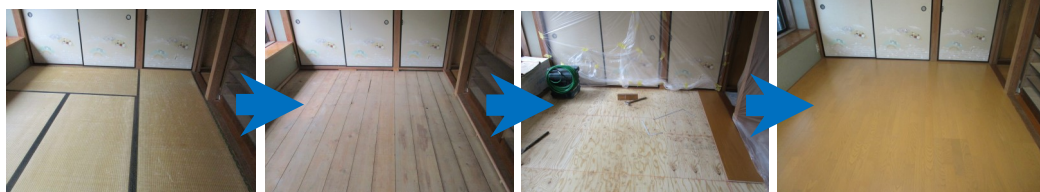
昭和53年の増改築工事以来、外装工事や住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は2階の和室の床をフローリングにリフォームする工事です。既存の畳を処分し、既存の下地の上から根太を施工し、9mmの合板を貼り、12mmフローリングで仕上げました。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

「足掛け10年くらいかけて、1階、2階の床についてはリフォームが完了しました」という感想をいただきました。これからもよろしくお願いします。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ビフォー、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



よこすか文学館

<56>

横須賀が登場する文芸や横須賀にゆかりのある文学者を紹介します。

阿川弘之

『井上成美』(新潮文庫)

大日本帝国海軍の最後の大將である井上成美(1889-1975)の、戦中の活動および戦後の生活を中心に描いた評伝。井上は、山本五十六、米内光政とともに日独伊三国同盟締結に反対し、また日米開戦の前には「日本が米国を破り、彼を屈服することは不可能なり」という建白書を海軍大臣に提出した硬骨漢です。戦中の兵学校校長時代には、敵性語と忌避されていた英語を重視し、入試科目から英語をはずさせませんでした。戦後は横須賀市長井に隠棲し、こどもたちを対象に英語塾を開きました。作者阿川弘之は戦中、海軍を経験した作家で、当該作と『山本五十六』『米内光政』は海軍提督三部作として著名です。タレント、エッセイスト阿川佐和子は娘。



〔洗足学園中学高校教諭 中島正二〕

横須賀製鉄所物語（遣米使節団の帰国②）＜67＞

52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

アメリカ側では遣米使節団正使一行を国賓として盛大な歓迎をすると共に、日本とアメリカの間の送迎費用、アメリカにおける滞在費用、咸臨丸の修繕費用についてもすべてアメリカ側で負担しました。更に、国から5万ドルの歓迎費用を支出し、各都市においても歓迎費用としてワシントン市、フィラデルフィア市ではそれぞれ1万ドル、ニューヨーク市では2万ドルを予定していましたが、いずれも予算超過で実際支出したのは20万ドル近くになったとされています。

遣米使節団一行は、条約の批准書交換の大役を果たすと共に、アメリカ大都市を訪問する中で、ニューヨーク等の都市では夜はガス灯により白昼のような明るさに驚き、日本の首都とアメリカの都市との差があまりにも違うのを実感し、日本の都市をアメリカなどの先進都市と同様に近代化させなければと感じさせられました。更に、政府関係機関、都市の公式訪問のほかにも、まだ日本では設置されていない図書館も視察しています。そして、蔵書の中には日本人によって執筆された図書までが収蔵されているのには、ただただ息をのむ思いで見つめていました。このように、正使一行は日本がいかに先進国から後れを取っているか、政治はもとより文化、芸術面でも多くを学ぶこととなりました。こうしたアメリカ側の受け入れに、使節団正使一行は鎖国下の日本では小さく開かれた窓であった長崎から世界を見ていましたが、アメリカ視察で先進国の実態の一端を見ることにより、日本が近代国家になるためには何をなすべきか、新しい国造りについて大いなる刺激を受けると共に学んで帰国することとなりました。

帰国にはアメリカが用意した最大の軍艦「ナイアガラ号」により往路は太平洋横断でしたが、帰国は大西洋横断する世界一周の航路となりました。その後、無事帰国しましたが、大きな偉業を成し遂げたので大歓迎を受けるものと考えていたものが、現実には身近な人たちの温かい歓迎のみでした。築地の海軍操練所に上陸し旅装を解いた後に江戸城に登城しますが、日本を出発して間もなく遣米使節に大きな期待を寄せていた大老井伊直弼は桜田門の変で今は亡く、遣米使節団は静かに幕を閉じました。

（元横須賀市助役 井上吉隆）



東京芝公園内には遣米使節100周年を記念して「万延元年遣米使節記念碑」の石碑が建立されています。1960年6月に日米修好通商百年記念行事運営会が建立したもので碑には村垣淡路守の歌が刻まれています。

竹芝の 浦波遠く こぎ出でて 世に珍しき 舟出なりけり

「鷹取山の空晴れて」

現在、追浜駅周辺では、国道16号の拡幅や357号の延伸事業、鷹取川の水路改修、市街地再開発事業などさまざまな計画が進んでいます。また、横須賀スタジアムや横浜DeNAベイスターズ総合練習場へ向かう商店街の整備も「スポーツを核としたまちづくり」としての統一性が望まれるところです。そこで、追浜のまちのグランドデザイン、将来像を地域の人々といっしょに描くことを目的とした「地域懇談会」が追浜コミュニティセンター（北図書館）北館3階集会室で、8月23日(日)14:00～15:30、24日(月)18:00～19:30の二日間に亘り開催されます。定員は各100名で先着順となります。

（参考資料「タウンニュース」）

お問い合わせ「横須賀市経営企画部まちづくり政策課」046(822)9952

※マスクの着用、消毒の徹底など感染予防に十分配慮し自己責任でご参加されることをお勧めします。



Amappoにつきましては「すまい造りメール 第180号」をご参照ください



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2020」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索